

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援事業）

○事業所名	児童発達支援事業所 南っ子		
○保護者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和6年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和6年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	* 困ったことがあった時にLINE等で連絡すると、面談等を入れてすぐに対応してくれるので相談がしやすい。	* 電話やLINEで相談があった場合、できるだけ早く対応できるように心掛けています。 * 定期的な面談や園便りにて、困ったことがあった時には相談ができることを伝えるようにしています。	* 保護者の困りがある時は迅速に対応し、相談内容に対して助言等を行う。 * 保護者が不安や困りを抱えることのないよう、相談ができることを周知していく。
2	* 子どもが南っ子の利用日を尋ねてくるなど、通うことを楽しみにしている。	* 散歩や野菜の収穫体験など季節に応じた活動を取り入れています。また、発達に合わせた遊びを提供できるよう、利用日に応じて制作物や感触等にも変化をつけるよう心掛けています。 * 個々の特性などを職員で把握し、場面や状態に応じた対応を行うようにしています。	* 子どもたちが『楽しかった』『もっと遊びたい』と感じられる活動を提供できるよう、内容の工夫等に努めていきたい。 * 活動前の打ち合わせ、活動後の振り返りを継続し、今後も個々に合わせた対応ができるよう努めていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	* 地域の子どもたちとの交流が少ない。	* 幼稚園、保育園との交流のきっかけを作るためにも、連携をさらに深めていく必要がある。	* 幼稚園や保育園との連携を更に密にして、一緒に活動をする機会を設けられるよう努めたい。 * 散歩や公園など外へ出掛ける機会を増やし、地域の方々との交流も増やしていきたい。
2	* 非常時の訓練等への取り組みに関して、保護者へ周知されていないと感じる。	* 年に2回(消防署との訓練、自主訓練)の避難訓練を実施していますが、園便りの活動欄での通知になっているために対象グループだけが把握されているのかもしれない。	* 各グループで1回ずつは訓練を経験できるよう、複数回の実施を検討していきたい。 * 非常時の訓練の開催時期を改めて周知に努めたい。
3	* グループLINEやInstagram等を開設して、子どもの様子がわかる写真や動画を送ってほしい。	* 事業所の携帯電話が無いため、職員の携帯電話で保護者と連絡を取り合っており、活動の様子などは、個人LINEで写真を送るようにしている。 * ホームページはあるが、更新の方法や手順がわからないため、ほぼ機能していない状態。	* 今すぐに事業所用の携帯電話を準備することは難しいが、携帯電話の導入の検討はしている。準備ができたら保護者へ通知し、グループLINEを作り、気軽に連絡が取れるようにしたい。 * ホームページの更新等に関しては、ホームページ会社と連絡を取り合い改善していきたい。